

垣根なき教育実践交流で小中連携推進中!

令和7年8月29日(金) 中津教育事務所

優れた授業実践を参観できる!

小中学校の指導内容を知ることができる!

他市の実践から新たな視点を得られる!

校種の垣根、各市の垣根、経験年数の垣根を超えた「学びの場」が広がっています!

中津教育事務所管内では、今年度より、外国語指導に関する課題解決を図るために、優れた教育実践を相互に参観できる仕組みを構築し、研修の機会の充実を図っています。事後研では、垣根が感じられない熱心な協議が繰り広げられ、「明日から取り入れたい学びがあった」と好評を得ています。

豊後高田市立高田中学校 6/13(金)

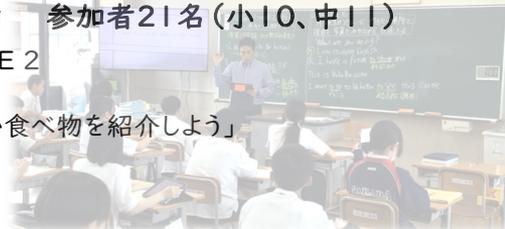
授業者 築島 巧 教諭 参加者21名(小10、中11)

SUNSHINE ENGLISH COURSE 2

“The Taste of Culture”

「ALTに食べてもらいたい美味しい食べ物を紹介しよう」

領域目標:「書くこと イ」



<参加者の振り返りより>

- ・書く活動における、単元ゴールを見据えた計画的な積み重ね(書きため)が重要だということが理解できました。
- ・書く活動の段階的な指導がとても参考になりました。(音声で十分に慣れる→マッピングで整理→書きためる)
- ・小学校における書くことの基礎の徹底の重要性を再確認できました。
- ・間違えても大丈夫という安心感のある授業づくりが参考になりました。
- ・基本文や語彙の繰り返しや音読指導の具体が見られて参考になりました。

中津市立豊陽中学校 7/8(火)

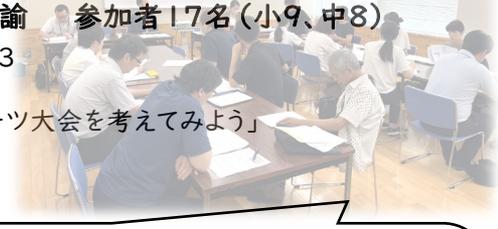
授業者 吉永 早紀子 教諭 参加者17名(小9、中8)

SUNSHINE ENGLISH COURSE 3

“Hot Sport Today”

「みんなが楽しんで参加できるスポーツ大会を考えてみよう」

領域目標:「書くこと イ」

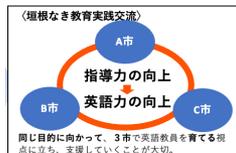


<参加者の振り返りより>

- ・頻繁なペア活動やスモールステップを意識した指導が大変参考になりました。
- ・ICTの効果的な活用(他の生徒の考えを効果的に共有)により、生徒自身が他の生徒の表現の良さに気づき、取り入れ、自分のものへ変えていたので参考になりました。
- ・生徒が学習の見通しを持つことの重要性を改めて実感しました。
- ・教師の英語での発話量の多さや教材研究及び事前準備の重要性について改めて気付かされました。
- ・生徒の実態に応じた語彙提示(ワードバンク)の工夫が参考になりました。

「垣根なき教育実践交流」のねらい

1. 管内3市で協力して英語教育を底上げすること
2. 授業や指導案が良い、悪いと評価するのではなく、明日から役立つ授業改善の視点を一つでも持ってかえること(自分ごと研修)
3. 他市や他校種の先生の実践から、自分自身の指導観を広げること
4. 小学校の指導法(音声から繋げる指導)の具体を知ること
5. 中学校へ進学後どのようなレベルを求められているのか把握すること
6. 垣根なき教育実践交流での学びを実践し各市の部会で還流すること



※ 英語科教員はもちろん、管内小・中学校教員の希望者は全員参加対象です。

今後の日程

日時	学校名	授業者名
9月29日(月)	宇佐市立院内北部小学校	由迫 淳子教諭(6年)
11月4日(火)	中津市立沖代小学校	鳥羽 千鶴教諭(3年)
11月11日(火)	中津市立三光中学校	西野 雄登教諭(3年)
11月25日(火)	豊後高田市立高田中学校	木代 真美教諭(未定)

※その他、小学校2校、中学校1校にて公開予定

小学校の先生が中学校の授業を参観し、自分の授業で「もっとやれることはないか」と、送り出す児童の中学校での学びを意識した指導の重要性に気づく場面がありました。これは逆も然りです。小学校において、積極的にコミュニケーションを取ろうとする児童の姿を目にしたとき、小・中の学びをなだらかにするために、自分の授業をどう改善すればよいか、考えるきっかけを得られるはずです。ご参加心よりお待ちしております。